

政策名	3夢のふくらむ港		責任者	総務部 広報・県市連絡調整担当 課長	連携担当課
基本施策名	04うらおいと魅力のある港湾空間の形成				
個別施策名	15効果的な港のPR活動をする		連絡先	052-654-7947	
事務事業名	03印刷物・広報番組・広報紙によるPR				

### 1 PLAN(目的・概要)

目的	港湾関係者及び県市民の港湾及び港湾行政への理解を高めるとともに、名古屋港への関心を高めます。	事業期間	昭和26年度～継続
概要	印刷物・広報番組・広報紙の作成により名古屋港情報を発信します。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

### 2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・印刷物の発行「PORT OF NAGOYA」「要覧」「ようこそなごやこうへ」「わたしたちの名古屋港」 ・広報番組「What's名古屋港」東海テレビ、年3回、日曜日 午前6時15分～6時30分放送 ・広報紙「広報なごや港」 中日新聞、年4回掲載								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
広報番組放送回数	単位	目標	4	4	4	3	3	3	
	回	実績	4	4	4	3			
印刷物「PORT OF NAGOYA」の作成部数	単位	目標	6,000	6,000	6,000	6,700	6,000	6,000	
	部	実績	6,000	6,000	7,100	6,700			
事業費	千円	20,813	18,879	16,701	15,224	14,582			
人員	単位	正規職員	人	2.40	2.30	2.30	2.50	2.30	
		嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
人件費相当額	千円	20,844	20,171	19,739	21,203	20,164			
事業費・人件費の合計	千円	41,657	39,050	36,440	36,427	34,746			

### 3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)	
広報番組視聴率	単位	目標	2.4	2.4	2.4	3.1	3.2	3.2		
	%	実績	2.3	2.3	3.1	3.2				
	達成率(%)	95.8	95.8	129.2	103.2					
印刷物「PORT OF NAGOYA」の配布部数	単位	目標	5,990	5,990	7,090	6,690	5,990	5,990		
	部	実績	5,100	5,289	6,535	6,930				
	達成率(%)	85.1	88.3	92.2	103.6					
観点	課題の有無	現状の「見える化」						その他特記事項		
必要性	組合関与の必要性	有・無								
	目的・水準の妥当性	有・無	各媒体の特性を活かすことで、幅広く名古屋港の重要性や港湾行政への理解を促進することが可能となっています。							
	利用者などの対象者ニーズ	有・無								
有効性	成果の達成度	有・無	専門的な内容になりやすいため、広報番組や広報紙等、県市民向けのものに関しては、引き続きより分かりやすい表現と紹介方法を研究していく必要があります。							
	内容の妥当性	有・無								
効率性	実施主体の妥当性	有・無								
	受益者負担の適正性	有・無	それぞれの事業について、利用者が理解しやすいものとなるよう、制作委託者のノウハウを活かし、効率的に作成しています。							
	経済性	有・無								

### 4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	印刷物のデータベース化を推進し、発行部数の削減を図った。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			

特に県市民向けの広報に関しては制作委託者のノウハウを積極的に活かし、より分かりやすく、効果的な情報発信に努めます。